

き きょうしき
帰敬式

帰敬式の意味と説明

日時	令和5年5月7日（日）8日（月）
----	------------------

帰敬式儀式執行

日時	令和5年6月4日（日）
場所	光照寺本堂
講師	住職
費用	21歳以上2万円（本山1万円、光照寺記念品1万円） 20歳以下1万5千円（本山5千円、光照寺記念品1万円）
記念品	法名紙 略肩衣 赤本 正信偈CD 肩衣入れ 手紙箱（後を託していく方へのメッセージ） 法名の意味 書類(A5-3枚) レターセット CDRW（音声録音用）（10点） 写真（後日）

一般のお寺で帰敬式が、執行できるようになりました。そして御門信徒様からの希望もあり、光照寺で初めて、帰敬式を行いました。受式者、受式を見守る方、執行する私、それぞれが、生前に法

名を頂く意味、そして自分につけられた法名のいわれの深さ、儀式の厳粛さに、言葉では表せない感動を覚えていたように感じました。

「法名」「戒名」ってよく聞くけど、どう違うの?????

「法名」を頂くという事は、お釈迦様の御弟子となって（自分の生き方を確認していく）**仏教を聞き生きていく**という決意です。だから本来は、生前に頂くものです。

死後の名前という事ではなく、一度きりの、（今生きている我々に自分の生き方を確認して生きて行ってほしいという願い）です。それは、仏教の教えを聞き、仏教徒として、生きて生きたいという誓いです。そして同時に成仏後に私が仏として、後

を託していく方への願いのメッセージでもあります。光照寺では、それを法名と受式者から後を託す方へのお手紙という形で表しています。

「戒名」というのは出家し、お釈迦様のお弟子になられた方が戒律を守って仏教の教えを歩いていく時の名前が「戒名」です。**我々真宗門徒は、何か生活の糧を持ちながら、①お釈迦様・②教え・③一緒に教えを聞く仲間の、三法を拠所にするので「法名」といいます。**

